

いります。

畜産につきましては、「おびら和牛繁殖センター」の2期目の建設工事である分娩・哺育牛舎と堆肥舎(攪拌棟)の整備が完了し稼働する予定であり、昨年の繁殖牛舎と合わせ分娩から哺育までの飼養が可能となります。

また、引き続き繁殖管理の一環体制を構築するため、本年度は育成・繁殖牛舎及び飼料保管庫等の整備を進めるための事務を行っているところであり、畜産農家の労力軽減に努めるほか耕畜連携体制の強化を図り、農家所得の向上と生産の強化に努めてまいりたいと考えております。

林業につきましては、「小平町私有林整備事業」により私有林整備の需要を捉えながら計画的な森林環境の保全、整備を実施するとともに、木材を活用した公共施設等の整備について「森林環境譲与税」を有効に活用しながら林業木材産業の持続的な発展を図ってまいります。

主な施策内容	予算額
中山間地域等直接支払交付金	81,138千円
畜産振興補助金	3,300千円
団体営土地改良事業	2,730千円
農地耕作条件改善事業	84,000千円
農道整備特別対策事業 (沖内地区道路改良舗装)	53,500千円
多面的機能支払交付金事業	46,793千円
産業振興基盤整備事業補助金	1,000千円
道営土地改良事業(住吉川南地区)	22,360千円
道営農業競争力強化農地整備事業 (大榎子川地区)	50,969千円
町有林整備事業	21,287千円
林業生産基盤整備道菊岡沖内線林道 開設事業	15,000千円

また、道営林道事業による「菊岡沖内線」林道開設事業(計画延長4.9km)において路網整備を進め、適切な森林施業を推進し森林の有する多面的機能の維

持・増進を図ってまいります。

さらには、農業のみならず林業被害も深刻な問題である鳥獣被害について、引き続き関係機関と連携し鳥獣駆除対策に努めるとともに、侵入防止柵の計画的な施設整備を実施してまいります。

水産業につきましては、新型コロナウイルス感染症や物価高騰により大きな影響を受けたところですが、継続して漁業生産活動が行えるよう、燃油高騰対策支援金等の支援を行ってまいりました。今後も漁業経営の安定化のため「漁業近代化資金利子補給」を引き続き実施してまいります。

また、漁業生産活動の重要拠点であります臼谷・鬼鹿両漁港の整備につきましては、鬼鹿では令和3年度から岸壁の整備が始まっており、臼谷ではホタテ共同利用施設の整備が、本年度完成に向けて進んでおります。

なお、漁港内トイレなどの関連施設等整備につきましては、漁港の就労環境や衛生環境の改善を図る観点から、関係機関等と協議を進めてまいります。

主な施策内容	予算額
水産物供給基盤機能保全事業	18,667千円
漁業近代化資金利子補給事業	2,031千円
小平町商工業振興事業補助金	10,042千円
中小企業資金利子補給事業	3,200千円
プレミアム付商品券発行事業補助金	2,000千円
小平町中小企業特別融資制度預託金	20,000千円
特産品振興支援事業補助金	5,000千円
観光施設整備等事業	94,690千円

商工業の振興につきましては、個人消費の低迷や人口減少等、様々な課題に直

面してありますが、プレミアム付き商品券発行事業費補助などにより、引き続き商工業の活性化に努めてまいります。

また、商工業者の支援策として実施しております「中小企業振興資金利子補給制度」につきましては、町内商工業者に積極的に活用されており、今後も関係機関と連携を密にし、商工業者の事業拡大や施設整備等の推進に努めてまいります。観光振興につきましては、本町の豊かな自然や食、歴史といった町の魅力を広く発信し、観光産業の活性化に努めてまいります。

また、町の観光振興の拠点である総合交流ターミナル施設の改修や各観光施設の維持補修等を実施し、利用者の利便性の向上を図ってまいります。



### 生活環境施策

ごみ処理につきましては、留萌南部衛生組合による広域的なごみ処理の継続と適正な分別の啓発を実施してまいります。また、高齢者や障がい者等で、適正な分別をすることが出来ない世帯に代わり、分別処理を継続実施してまいります。墓地の維持管理につきましては、合同墓の啓発を実施し、施設の適正管理に努めてまいります。

道路事業につきましては、臼谷1号線の修繕工事を予定しており、路面損傷の激しい町道の舗装補修を実施してまいります。また、冬期間の積雪に対しましては、適切な除排雪を実施するため、老朽化した除雪車輛を計画的に更新してまいります。

橋梁維持につきましては、黄金橋外1橋の修繕工事を予定しており、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の延命化を図るため、計画的に修繕事業を行い、安全性の確保に努めてまいります。河川事業につきましては、昨年度、河

川の河道掘削1箇所、樹木の伐木1河川を実施し、本年度も引き続き浸水対策の強化に努めてまいります。

町営住宅等の整備につきましては、公営住宅等長寿命化計画に基づき、本年度は、第2旭団地2棟4戸の建替を実施してまいります。

また、老朽化した公営住宅の修繕を実施してまいります。

さらには、住環境整備助成金及び住宅新築費等助成金を再開し、町内経済の活性化及び居住環境の向上を図ってまいります。

下水道事業については、下道事業については「ストックマネジメント基本計画」に基づき、浄化センター及び管渠を含めた更新工事並びに二期目のストックマネジメント計画を実施してまいります。

また、経営基盤の安定化を図るため、令和6年度からの地方公営企業法の適用に向けて、移行事務を進めてまいります。今後におきましても、適正な施設管理を行い、自然環境の保全、地域や家庭における快適な生活環境が確保されるよう努めてまいります。

なお、下水道区域外の地域におきましては、合併浄化槽設置整備事業補助制度を活用し生活環境の向上を図ってまいります。

水道事業についてはありますが、「水道施設更新基本計画」に基づき、浄水場「おびらアクアプラント」が完成し、4月から供用を開始いたします。

本年度は、達布地区へ給水するための送水管2.3km及び配水ポンプ場の工事を実施してまいります。

また、管理体制の効率化を図り、安全で良質な水道水の供給が確保されるよう努めてまいります。

交通安全対策についてありますが、昨年は、町内での交通死亡事故の発生がなく、安堵したところであり、悲惨な交通事故の撲滅に向け、町交通指導